

再生医療産業化推進事業（再生医療サプライチェーン調査検討事業）に係る  
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

令和4年12月23日（金曜日）

1. 日時及び場所

○ 書類審査及びプレゼンテーション審査

令和4年12月23日（金曜日） 12時45分から15時00分まで

ライフサイエンス産業課会議室

2. 審査方法

あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、3名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により100点満点で総合評価を行った。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が60点を超える提案者のうち最高得点の者を最優秀提案事業者として選定。

3. 審査対象者（提案者）

（1）三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 大阪

（2）株式会社日立製作所 関西支社

（3）有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所

4. 議事要旨

- ・選定委員会の公開・非公開について審議（非公開に決定）
- ・審査方法及び審査基準の確認
- ・企画提案部分について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施
- ・その後、10分間の質疑応答を実施。
- ・審査の結果、「有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所」を最優秀提案事業者に決定

【最優秀提案事業者に対する主な委員意見】

- 再生医療関連分野の知識・理解があり、シナリオプランニングにおいて、サプライチェーンと、デジタル技術を活用した安全・安心を担保する仕組み全般において、バランスの良い提案となっている。
- 関係する国プロジェクトへの関与や、ベンチャーやスタートアップに関する豊富な知見やネットワークを活用して特徴ある調査検討を進められる可能性があるとともに、関連した部署の人材を本事業に配置していることから、事業遂行体制を評価できる。
- 課題・ニーズの把握において、既知の有識者・企業へのインタビューや、特定の疾患に焦点をあてたミクロな視点だけでなく、複数の疾患から見込まれる将来需要等のマクロな視点からの予測や、再生医療のサプライチェーン全般へのニーズを把握した上で、調査検討をすすめていただきたい。

5. 選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

所属・職名等	氏名	選任理由
特定非営利活動法人 バイオグリッドセンター 関西 理事	坂田 恒昭	ライフサイエンス分野に関する知見に基づき、提案の実現性、実効性について審査していただくため。
国立大学法人大阪大学 共創機構 渉外部門長	正城 敏博	産学官連携の経験などを活かし、提案項目の具体性などについて審査いただくため。
日本公認会計士協会 近畿会 公認会計士	矢本 浩教	企業会計や経営の専門家としての知見を活かし、審査していただくため。